

四街道市こども・若者等意見聴取 こども計画フィードバック資料

令和7年12月
四街道市子育て支援課

意見聴取(調査)の概要

多くの皆さんから意見をいただきました。ありがとうございます。

No.	調査名	調査対象
1	市民への意見募集	・小学5年生～29歳・子育て中の方・子育て支援に関する活動をしている方
2	小中学生への意見募集	・小学5年生～中学3年生
3	高校生への意見募集	・高校1年生～高校3年生
4	こどもルームでのインタビュー	・こどもルームを利用しているこども
5	森まつりアンケート	・プレーパークどんぐりの森まつりに参加したこどもや大人
6	中学生のワークショップ	・中学1年生～中学3年生
7	高校生へのワークショップ	・高校1年生～高校3年生
8	市民活動団体へのインタビュー	・こどもや子育て家庭に関わる活動をしている市民団体
9	意見を聴かれにくいこどもへのインタビュー	・不登校のこども・外国人にルーツをもつこども・障がいのあるこどもなど
10	事業所調査	・市内認定こども園・幼稚園・保育所等・こどもルーム運営事業者
11	ニーズ調査	・小学校就学前の子どもの保護者と小学生の保護者
12	生活状況調査	・小学5年生とその保護者、中学2年生とその保護者

次ページから、計画の基本目標ごとに、いただいた意見と反映状況をまとめています。

基本方針1 こどもの育ちを支える教育・保育体制の推進

主な意見

教育・保育の提供体制の確保

- 子供を安心して預けられる環境の拡充をしていただけたと嬉しい思う。(保護者)

ニーズに応じた多様な保育サービスの充実

- 一時預かりの充実をお願いしたい。(保護者)
- 病児保育がまた始まると有難い。(保護者)

子育て支援力の強化

- 育児と仕事を両立するため日常的に手助けが欲しい。(保護者)
- 親たちが子育てにおいて孤立感を感じることが多く支援が必要。(支援者)

意見反映時のポイント

教育・保育の拡充を求める意見
が挙げられた。

一時預かりや病児保育の充実
を求める意見が挙げられた。

子育てや仕事を両立する上で
様々な支援を求める意見が挙
げられた。

意見の反映方法

No1「教育・保育の受け皿を確保し、又は教育・保育の環境を改善するため、必要に応じて教育・保育施設等の整備を行います。」と記載しました。

No16「公立保育所において一時保育事業を実施するとともに、民間事業者が行う一時預かり事業を支援します。3市連携による相互利用も継続します。」、No18「民間事業者への委託により、病気や病気の回復期にある児童を対象とした保育を実施します。」と記載しました。

No23「子育て支援サービスを提供する会員と子育て支援サービスを依頼したい会員とを橋渡しすることによって、地域の子育て家庭の負担を軽減します。また、3市連携による相互利用も継続します。」、No25「児童センターにおいて、0歳児、1歳児、2歳児とその保護者をそれぞれ対象にした教室を開催し、親子のふれあいを大切にしながら、遊びなどを実施し、親子間の交流を促進します。」と記載しました。

基本方針2 こどもと親の心とからだの健康づくり

主な意見

妊娠・出産からの切れ目のない支援の充実

- 悩みを相談できる窓口を増やしてほしい。必要な時に相談できる場所があると有難い。(保護者)

小児医療保険体制の充実

- 医療費助成は助かるが安い受診を減らすためある程度の負担は良いと思う。(保護者)
- 医療費が無償で非常に助かっている。(保護者)

意見反映時のポイント

~~様々な悩みを相談できる窓口の設置を求める意見が挙げられた。~~

~~市民の医療の適正受診や医療費の無償化を引き続き求める意見が挙げられた。~~

意見の反映方法

No36「複雑な問題を抱える家庭やつらい子育てになっている家庭に対して、関係機関と連携して同行による訪問などを行い、早期の支援に努めます。また、精神科医、心理士等のスーパーバイズによる関係職員の資質・支援技術の向上に努め、多角的に支援できるようにします。」と記載しました。

No49「母子保健事業を実施する中で機会を捉え、かかりつけ医を持つことの大切さを周知していきます。さらに、安い重複受診や診療時間外の受診は控えるなどの適正受診の周知啓発を図ります。」、No53.54「中学3年生までのこども、及び高校生相当の年齢のこどもを対象に、入院、通院に係る医療費の助成を行い、こどもの保健対策の充実と保護者の経済的負担の軽減を図ります。」と記載しました。

基本方針3 こども・若者の権利を守り、豊かな心を育む育成環境の整備

主な意見

こどもの居場所遊び場の充実

- 自然に触れたり感じたりすることのできる場所や機会があると子どものためになると思う。(保護者)
- 公園などにゴミが落ちてなかつたらいいと思う。(小学生)
- 公園でボール遊びがしたい。(小学生)
- もっとこども食堂のことについて組んでほしい。(中学生)

こどもの多様な活動を応援する環境の推進

- もっと絵や芸術に触れる機会がほしい。(中学生)
- 図書館で新しい本を読みたい。(小学生)

意見反映時のポイント

~~快適に過ごすための居場所を求める意見が挙げられた。~~

意見の反映方法

No59「自然の中で思いきり遊べるプレーパーク事業を継続します。また、多くの市民が利用しやすいよう出張プレーパークを開催し、遊びの場所の充実に努めます。」、No60「児童に健全な遊び場を提供するため、都市公園の維持管理を行います。ボール遊びのできる公園として、中央公園野球場及び千代田近隣公園多目的広場を開放します。」、No61「子ども食堂や放課後子ども教室などを運営する市民活動団体への支援や地区社会福祉協議会との情報共有を行い、地域の多様な人々と子どもの交流の場となる子どもの居場所づくりを推進します。」と記載しました。

~~絵や芸術、新しい本に触れる機会を求める意見が挙げられた。~~

No63「児童生徒を対象として、演劇や音楽などの優れた芸術文化に接する機会を提供します。」、No65「児童書の貸出しが増加しているため、必要な資料の提供が行えるよう、購入・整備を行います。」と記載しました。

基本方針3 こども・若者の権利を守り、豊かな心を育む育成環境の整備

主な意見

こどもの多様な活動を応援する環境の推進

- 学校や家に居づらい環境にいる子に対して過ごしやすい場所があるといいと思う。(高校生)
- 英語が苦手なので、言語が違う人ともコミュニケーションを取れるようになりたい。(中学生)

青少年の健全育成

- 不登校な人が増えてきた。
(中学生)
- いじめのない優しい学校になつたらいいと思う。(中学生)
- 不登校の児童が増えており、教育を受ける時間が減ることで人生への影響が懸念される。
(支援者)

意見反映時のポイント

学校や家に居づらい子どもの安心して過ごせる場所や英語が習得できる環境を求める意見が挙げられた。

意見の反映方法

No73「不登校児童生徒を中心としたこどもたちに学校や家庭以外の居場所を提供するために、NPO団体等と連携し、キャンプや自炊、工作や遊び等の体験活動への支援を行います。」、No76「児童生徒の外国の生活・文化への興味関心やコミュニケーション能力の基礎を育成するため、外国語指導助手を各小中学校に配置・派遣します。」と記載しました。

不登校やいじめのない環境を求める意見が挙げられた。

No81「非行、問題行動、いじめ、不登校等の早期発見、早期対応を行うため、学校や家庭からの相談体制の充実を図ります。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用や関係機関との連携を図り、問題解決に向け積極的に対応します。」と記載しました。

基本方針3 こども・若者の権利を守り、豊かな心を育む育成環境の整備

主な意見

子どもの権利の確保

- 差別や区別などを無くしみんなが平等に楽しく学校生活を送れるようにしたい。(中学生)
- 何かと子どもの意見が大人に聞かれないことがある。(中学生)

次世代を担う若者の育成とふるさとの愛着の醸成

- もっと祭り・イベントを増やしてたくさん的人が交流できる場作ってほしい。(中学生)

意見反映時のポイント

みんなが仲良く過ごせる差別のない学校生活を求める意見や、自分の意見を大人に聞いてほしいとの声が挙げられた。

意見の反映方法

No82「四街道市みんなが笑顔のまち子ども条例や子どもの権利条約の内容を、こどもを含む市民に広く周知・啓発します。また、児童生徒がいじめ等の人権問題について考える機会を作ることによって、相手の気持ちを考え、思いやりの心を育てることの必要性と重要性について、理解を一層深めてもらうことを目的として、市内小中学校において、人権教室を開催します。」、No84「こどもに関する施策を実施又は変更する際に、子どもの意見を反映する機会を設けるよう働きかけます。」と記載しました。

より多くの祭りやイベントの開催を求める意見が挙げられた。

P67「関係団体等と連携しながら、四街道ふるさとまつりをはじめとする様々なイベント等を通じて、こどもや若者の地域への愛着・誇りの醸成を図るとともに、子育て世代に選ばれるまちづくりを推進します。」と記載しました。

基本方針4 すべてのこどもと子育て家庭を支える取組の充実

主な意見

ひとり親家庭への支援

- 母子家庭への支援がほとんどなくて残念である。(保護者)

障がいのあるこどもへの支援

- 障がいのある子どもも楽しく過ごせるようにしたい。(中学生)

外国にルーツをもつこども・家庭への支援

- 日本語がわからない。(小学生)

意見反映時のポイント

ひとり親家庭に対する支援を求める意見が挙げられた。

障がいのあるこどもも楽しく過ごすことができる環境を求める意見が挙げられた。

外国にルーツを持つ子どもが日本語を学ぶための支援を求める意見が挙げられた。

意見の反映方法

No100「ひとり親家庭や寡婦・寡夫に対し、生活一般の相談に応じ、経済・教育など様々な問題の解決への手助けや就労に関する情報提供、自立に必要な指導を充実します。」と記載しました。

No107「行動援護、同行援護、移動支援など、障がいのある子どもの地域における社会参加、余暇活動のための外出を支援します。また、利用者のニーズを把握し、事業の充実を図ります。」と記載しました。

No133「市内小中学校における日本語指導が必要な児童生徒について、言語・文化等の相違に対応するため、関係機関等と連携を図り、協働しながら、児童生徒・保護者への包括的な支援体制を構築します。」と記載しました。

基本方針5 こどもを中心としたまちづくりの推進

主な意見

子育てにやさしい環境の整備

- 道路が狭く通学時危ない。
(高校生)
- 道路がデコボコしていて困っている。(中学生)
- 歩道が少なく、また狭い場所がある。(若者)

身近な安全の強化

- 交通事故が少なくなつて欲しい。
(小学生)
- マナーの悪い自転車や自動車が多いように感じる。(保護者)
- 信号や横断歩道が少なくて困っている。(中学生)

意見反映時のポイント

道路に関する環境の改善を求める意見が挙げられた。

交通事故が減るよう車両運転手のマナー改善を求める意見が挙げられた。

意見の反映方法

No134「ベビーカーや小さなこどもを連れた保護者が安心して道路を利用できるよう、歩道部段差解消などのバリアフリー工事や幅員の広い歩道の整備を実施します。」と記載しました。

No140「交通安全教室を開催し、正しい交通安全知識の習得を推進します。また、市民の交通安全意識の向上のため、警察署や地域と連携し、交通安全運動を中心とした各種啓発運動を推進します。」、No142「学校・地域からの要望に基づき、信号機、横断歩道等の交通安全施設について、警察署を通じて県公安委員会へ設置要望を行い、警察署・県公安委員会等と協議しながら、整備・充実を図るとともに、地域における交通安全活動の推進を行う団体への補助を行います。」と記載しました。

評価いただいた保護者の方からのご意見

意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

主な意見

喘息で、何度も通院や入院、小児救急医療で、助けてもらいました。

自分が子育てをしてきた中で、市のプレーパークの存在はとても大きかったです。

保育園も増えており、子育てもしやすい環境となっていてとても満足しています。保育園の入所申し込みの際も丁寧に教えてください、とても安心出来ました。今後もこの地域で暮らしていきたいと思っています。

子ども関係などの部署の職員の方には大変お世話になっていて、親身に話を聞いていただいたりとても感謝しています。

目立たない街ですが、とても住みやすい所だと感じています。程よい田舎感が安心できます。

子供医療費の制度はとても助かる。皆が制度を守って利用し、長くこの制度が続くことを期待する。

医療費助成や、3人目の給食費無料など、多子世帯にはとても助かるご支援ありがとうございます。

他市では学童利用が小3まで(低学年まで)となっているところもありますが、四街道は小6まで利用できて、働く身としてはとても安心です。

意見の反映が難しかった意見

主な意見

公共交通の整備について

- 電車運賃が高い。
- 東京方面行の電車の本数を増やしてほしい。

商業施設等の設置について

- 大型ショッピングモールやファストフード店を増やしてほしい。
- 映画館を作つてほしい。

反映が難しかった意見

四街道市こども計画では、計画の対象者となる「こども・若者と当事者及びその家族」に対する施策を中心に記載しているため、全市民を対象とする施策は原則記載しておりません。しかしながら計画に記載のない意見につきましても、今後の貴重な意見として参考にさせていただきながら、「こどもたちの夢と権利を支え、ともに未来を創るまち“よつかいどう”」の実現を目指して参ります。

